

2010 年 1 月 18 日

東芝三菱電機産業システム株式会社

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル
Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125
www.tmeic.co.jp

～超高速大容量モータおよび電圧型可変速ドライブ装置を採用～ 中国 西気東輸II線(西側)向け大型電機設備を受注

東芝三菱電機産業システム株式会社(社長: 伍香 秀明)は、中国石油天然気集团公司(China National Petroleum Corporation: CNPC)グループ傘下の中国石油管道建設項目經理部(PetroChina Pipeline Construction Administration Department)より、西気東輸II線(西側)プロジェクトのガスパイプラインのコンプレッサ用に、超高速大容量モータ及び電圧型可変速ドライブ装置を含む電機設備 12 セットを約 40 億円で受注致しました。2011 年春から機器の現地搬入および据付試験調整を開始し、2012 年に稼動する予定です。

当社は 2003 年 10 月に株式会社東芝と三菱電機株式会社の産業部門の合併会社として設立以降、Oil & Gas プラント、パイプライン向けの超高速大容量モータ&ドライブシステム事業を強化しており、これまで国内、海外において多くの電機設備を受注しております。

中国では目覚ましい経済成長によるエネルギー需要の高まりで大型の Oil & Gas プロジェクトが進行中で、当社にとっては中国の国家プロジェクトである CNPC グループ向けの大型案件で初めての受注となります。

【 受注の背景 】

これまで Oil & Gas パイプラインのコンプレッサの駆動方式はガスタービン駆動方式が主流でしたが、近年は超高速大容量モータ&ドライブ装置を採用した環境性に優れた電気駆動方式が注目されています。LNG を初めとする世界の Oil & Gas プラントにおいても CO2 削減、環境保全へのニーズは高まっており、電気駆動式の超高速大容量モータ&ドライブ装置の市場規模は急成長が予想されています。

今回の入札では、当社は電圧型の可変速ドライブ装置を提案し、欧米企業が提案する従来の電流型の可変速ドライブ装置に対して技術及び価格ともに高く評価され、さらに将来性において優れたシステムであると認められ、受注に至りました。当社は電圧型可変速ドライブ装置のパイオニアとして数多くのプラントで実績を有し、今回の採用により Oil & Gas プラントにおいても今後は電圧型可変速ドライブ装置が主流になっていくことが予想されます。

今後も当社は電圧型可変速ドライブ装置による超高速大容量モータ&ドライブ装置を積極的に提案し、将来中国で計画されている西気東輸II線(東側)及びIII線プロジェクトのみならず、世界の Oil & Gas プラントで受注拡大を図ります。

【 電気駆動方式の超高速大容量モータ&ドライブシステムの概要 】

超高速大容量モータ&ドライブシステムによる電気駆動方式は、ガスタービン駆動方式で発生する CO2 排出を無くし、また優れた操作性や容易な保守性から世界のエネルギー業界が新世代駆動方式として期待しています。

＜主な特徴＞

- ・ 超高速大容量モータ(18MW、毎分 5200 回転)の採用により、従来必要であった回転数を増速す

るギアを不要とし、コンプレッサを直接駆動するので、増速機のスペースが不要で、設備全体が簡素化され、動力伝達ロスを低減。

- ・ 電圧型可変速ドライブ装置の採用により、安定した電動機の可変速制御を実現。高調波が低減されるため、電力系統の安定化に寄与。

【プロジェクトの概要】

西気東輸は、中国の西部内陸側から東南部沿海側まで、天然ガスをパイプラインで輸送する中国の国家プロジェクトで最終的に第6線まで計画されている。第I線は2000年に着工され、現在その第I線の2期工が進行中。今回の入札対象の西気東輸II線(西側)は、中国西部の天然ガスを広東地域へ送る中国内幹線長4918キロ、サブライン入れて全長8600キロ以上に及ぶパイプラインです。第II線の2期工事(東側)は2010年中に入札が開始される予定。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画部

Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125